

■はじめに

ユーグレナ社の CFO 募集*₁ では、8月の3週間余りの募集期間に、500名もの応募があり、その中から、1200字のエントリーシートによる書類選考と2回の面接を経て、東京都の高校2年生、17歳の小澤杏子さんが選ばれました。小澤さんは、高校で「フラボノイドと腸内細菌の関係」というテーマの研究をしていて、その道の大先輩となる研究者が大勢所属している会社が CFO を募集していると知って、ぜひ何らかの形で携わりたいと思って応募したといえます。



小澤さんはインタビューの中で、以下のように答えています。

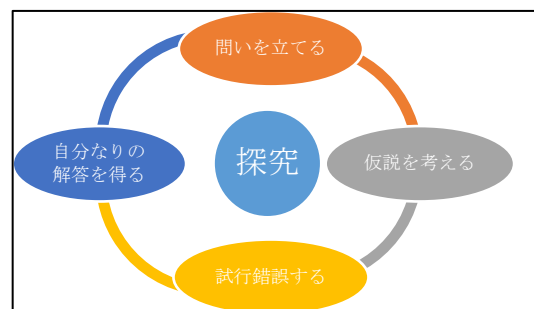
今回の CFO 募集のように、若い世代に責任あるポジションを任せてもらえるならば、自分の軸を変えずに、きちんと保つことが、より大切になってくるんじゃないかなと感じます。自分の発言したことが、1年後も5年後も変わらずブレないことが大事だと思っています。口先だけで『世界を救いたい』『貧困を無くしたい』というのは、誰にでも言える。ただ今回は、そのために企業の一員として、具体的に行動に移すことが出来るチャンスを受けたと思って、一生懸命取り組んでいきたいと思っています。

学校教育で目指すのは、小澤さんのように、ブレない自分軸をもち、自らの生き方を見つけ、社会に貢献していこうとする人づくりです。

■奈良市の新しい学校づくり

① 一条高校の新しい教育について

一条高校では、来年度から学科再編を行い、次の時代を見据えた新しい教育を目指していきます。「新しい教育を目指す」といっても、これまで行ってきた教育を全否定するものではありません。良いところは一条高校の特色として残し、さらに伸ばしながら、時代に対応した新しい教育にも取り組んでいくということです。



それが、Arts STEM 教育*₂や探究学習であり、教育委員会や一条高校の中でも議論してもらっている中高一貫構想です。

② 平常西中学校区の施設一体型小中一貫校づくりに際して

新しい校舎をつくる際に議論となったのが、「どのような学校にするのか」という、基本コンセプトや具体的な校舎の内容です。この議論をする中で、「教育の40年ギャップ」の話を思い出しました。自分が受けてきた20年前の経験をもとに、今の姿を議論する。そこには、40年のギャップが生まれてしまう、というものです。しかし、本当に考えないといけないのは「今」ではなく「20年後の姿」です。



校舎づくりについては、メンバーが異なる、様々な場で話し合いが行われました。

1) 学校の教員の意見

学校の教員からは、一番、現実的な意見が出てきました。毎日、それぞれの学校の中で子供と向き合い、教壇に立っているので、現実的な意見が出るのは当然です。これまでの教育ができる学校の方が、教員は安心するのだらうと思います。

2) 子供たちの意見

子供たちからは多様な意見が出てきました。例えば、「フードコートや自分の部屋が欲しい。」といった意見がありました。一見、突拍子もないような意見に思いましたが、その根っこには、子供の「自由でありたい」という思いがあり、改めて、子供たちは、学校をどうとらえているのか、ということを考えさせられました。

3) 指導主事の意見

指導主事には、「それが可能であるかどうかは度外視して、本当の理想の学校、目指す理想の教育を考えてほしい。」と要求して議論してもらいました。その結果出てきた学校の姿は、例えば、午前中は「自分で学ぶ時間と友達と学ぶ時間」があり、午後は「個人やグループで追求したい課題を探究していく学習」といったものでした。

これは、昨年7月の校長会で「未来の教室とEdTech研究会」の紹介をした、未来の学校の姿でもあります。「個別最適化された学び」と「協働で課題を追究していく探究型の学び」が主流となる学校です。今すぐに、こうした学校に変わっていくとは思いませんが、議論と実践を積み重ねながら、20年後、30年後にはこうした学校へ向かっていくのだらうと思います。

■未来を生きる子供を育てる学校づくりを

未来を生きる子どもを育てるために

20年前の教育に 立ち止まらない

20年前の姿で立ち止まらないよう、自らの学校の、これまで行われてきた様々な学校の当たり前を一つ一つしっかりと考え直してほしいと思います。具体的にそれぞれの学校で、どう変えていくのか。20年前の姿で立ち止まった議論にならず、20年後はどうなっていくのかを見据え、一つずつ具体的なことをそれぞれの学校の実態に応じて考えてほしいと思います。

※1 ユーグレナ社の CFO 募集

ユーグレナ社とは、ミドリムシという藻を生かした健康食品を開発販売したり、あるいは、ミドリムシを使ったジェット燃料の開発を行ったりしている東京一部上場会社。この会社が募集している CFO とは、「チーフ・フューチャー・オフィサー」の略で、『最高未来責任者』と訳す。

※2 STEAM 教育

サイエンス、テクノロジー、エンジニアリング、マスマティクスの頭文字をとった、科学・技術・工学・数学、この4つの分野の教育に力を注いでいき、これからのグローバル社会、IT 社会に適応した人材育成を目指した教育。一条高等学校では、このSTEM教育に「Arts (アーツ)」いわゆる芸術、人文科学を取りこんだ、「Arts STEM」という表現をして、取り組もうとしています。